

第28回広島数学教育研究会

2022年8月27日(土) 16時30分~18時

会場 広島大学大学院国際協力研究科 大会議室

基調講演者

山岸利次 准教授

長崎大学教育学部

基調講演題目

教育思想史としての統計(学)史—19世紀道徳統計を例にして
History of statistics within a history of educational philosophy—
through a case of moral statistics in 19th century

道徳統計は19世紀ヨーロッパ(イギリス・フランス・ドイツ)において生成・展開した統計学の一領域である。これは人間・社会を習慣(moral)という観点から統計を用いて実証的に把握しようとすることを試みたものであるが、当時の人間・社会理解に大きな転換をもたらすものであった。例えば、同時代の犯罪学や19世紀末に成立する社会学は道徳統計により準備されたものである。

本報告では、新たな人間・社会像をもたらした道徳統計がいかなる教育認識をもたらしたのかということ、主要な論者の教育論から明らかにする。

事務局担当:福田博人(岡山理科大学) hfukuda@ous.ac.jp

申し込みはこちら→
参加無料



* 新型感染拡大の状況次第では中止となる場合がございます。その際には、申込時にいただいたメールアドレスに別途ご連絡差し上げます。

